

ご 案 内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者の派遣方
につきまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

平成 29 年度研修

鋼橋設計・施工

— 基本技術から維持補修まで —

共 催 一般財団法人 全国建設研修センター
一般社団法人 日本橋梁建設協会
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

鋼橋の特長は、コンクリート橋に比べて重量の割に高い強度を得ることができ、そのため支間を長くとることができる。また、軽量なため地震による影響も小さくて済みます。

本研修では、鋼橋の計画・設計・製作・架設・維持補修から積算まで鋼橋全般にわたり、経験豊富な第一線で活躍されている技術者(講師)の方々による実践的で、わかりやすい講義を行います。

また、鋼橋に関わる最新技術も短期間に修得することができ、鋼橋建設業務に携わる職員の皆様には大変有意義な研修となっております。

全国から集まる実務担当者との相互交流、情報交換の貴重な機会として好評を得ています。皆様のご参加をお待ちしております。



斜張橋主桁の架設



大宮ほこすぎ橋 (埼玉県)

※(一社)日本橋梁建設協会より

【期 間】 平成 30 年 1 月 24 日(水)～1 月 26 日(金) 3 日間

【場 所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館
〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2
TEL:042-324-5315 <http://www.jctc.jp/>

当センターホームページよりインターネットで研修の申込ができます。

(一社)建設コンサルタンツ協会の継続教育(CPD)認定プログラム(昨年度 18.66 単位)

(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続教育(CPDS)認定プログラム(昨年度 21 ユニット)

※受講経費の助成制度がある道県 (政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります。)

北海道・青森・岩手・栃木・群馬・神奈川・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知・熊本・大分・宮崎の
20 道県。詳細は、各道県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

平成29年度研修「鋼橋設計・施工」実施要領

1. 目的

鋼橋の計画・設計のポイント、製作・架設、補修・補強事例など基本から最新の技術まで総合的な知識を短期間で修得する。

また、共同生活による相互啓発、相互交流、情報交換等を通じて、職場における業務の推進に資するものとする。

2. 対象職員 橋梁の計画・設計・製作・架設・維持補修等に携わる職員

3. 募集人数 40名

4. 研修期間 平成30年1月24日(水)～1月26日(金) 3日間
全寮制(通学を希望される方はご相談ください)

5. 集合日時 1月24日(水)8時45分までに、研修会館に集合してください。
※前日宿泊を希望される方は、21時までに入館してください。

6. 教科目、講師及び研修場所(次頁以降参照)

7. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当: 本山・浦上

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

※ 申込みはインターネット、郵送、FAX、メールいずれでも受け付けています。

ホームページアドレス <http://www.jctc.jp/>

メールで申込みをする場合は、申込書フォームをメールで請求してください。

TEL: 042-324-5315 FAX: 042-322-5296 メールアドレス: uketuke@jctc.jp

8. 研修経費及び納入先

(1) 研修経費(1人当たり・消費税含)

① 研修会費: 68,000円

② 宿泊費: 5,800円(2泊分) ※前日宿泊の場合は、1泊分(2,900円)追加になります。

③ 合計: 73,800円

(2) 研修経費納入先

三菱東京UFJ銀行 新宿支店 普通預金 No.0000316

ザイ) ゼンコクケンセツケンシュウセンター

一般財団法人 全国建設研修センター

アサノマ カズオ

理事長 浅野間 一夫

受講通知書到着後にお振り込みください。

振込手数料はご負担ください。

なお、お振り込みの際には「振込依頼人名」等の頭に、受講通知書等に記載されている「申込番号」を入力ください。また、経費別の納入及び当日持参も可能です。

(参考) 食費は、研修会館内食堂(土・日・祝日は休み)で定食を取られた場合、朝420円、昼470円となります。支払いは直接食堂へお願いします。なお、夕食は現在休止しております。

9. 申込締切日 平成30年1月17日(水)

10. その他

(1) ご持参いただくもの(筆記用具、共済組合員証又は健康保険証、洗面用具、タオル類、着替え、雨具等)

(2) 宿泊施設は、2～6人部屋となっています。

(3) 研修会館に備わっているもの(浴衣、スリッパ、洗濯機、乾燥機、洗濯洗剤、石鹸、シャンプー、ドライヤー)

(4) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。

(5) 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

平成29年度研修「鋼橋設計・施工」

講義日時	講義時間	教科目	講義内容	講師所属	講師名	
1/24 (水)	8:30～8:45	受 付				
	8:45～9:30	開講の挨拶・オリエンテーション				
	9:30～10:30	1.0h	鋼橋の利点、特長について ・鋼橋へのアプローチ ・鋼橋の魅力	鋼橋全般について、橋の分類・橋の名称、どのように作られているのかその過程や鋼橋の利点・特長などをわかりやすく紹介します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 設計部会 部会長 (株)横河ブリッジ 設計本部 大阪設計第二部長	堀井 滋則
	10:40～11:40	1.0h	鋼道路橋計画の手引き	鋼橋の形式選定に関する基礎知識について解説します。鋼橋の構造型式についての概要を説明します。		
	12:30～14:30	2.0h	・鋼橋の計画・設計のポイント ・施工と維持管理に配慮した鋼橋設計時の留意点	鋼橋に携わる技術者として発注前・後の諸問題を最小限とするための計画・設計上のチェックポイントについて基本的確認事項および不具合事例をもとに解説します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 委員長 日本ファブテック(株) 設計部長	三宅 隆文
	14:40～16:10	1.5h	鋼橋の製作	鋼橋の工場製作の工程の流れに沿って、施工要領、使用機材、品質検査等、必要な基礎知識について解説します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 製作部会 委員 日本鉄塔工業㈱ 製造部 鉄構製造グループ グループリーダー	須股 広幸
1/25 (木)	16:20～18:00	1.5h	鋼橋の架設	鋼橋の架設工法について、現地状況に応じた架設工法の選定と、各工法における施工要領、施工上の留意点、架設機械、事故防止対策などを説明します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 架設小委員会 委員長 三井造船鉄構エンジニアリング㈱ 建設本部 西部工務部 主管	大下 嘉道
	9:00～10:50	2.0h	鋼橋製作の積算	鋼橋製作の積算について、構成・要素等を解説し、積算上の留意点を説明します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 広報委員会 製作積算部会 委員 瀧上工業(株) 企画管理室 企画管理チーム 課長	松井 正男
	11:00～12:00 13:00～13:50 (1h昼休み)	2.0h	鋼橋架設の積算	鋼橋架設と補修工事の積算について、積算の概要説明と積算例を用いて留意点を解りやすく説明します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 広報委員会 現場施工積算部会 部会長 三井造船鉄構エンジニアリング㈱ 営業本部 部長代理	芦田 隆
	14:00～15:50	2.0h	鋼橋の防食	鋼道路橋における代表的な3つの防食方法(塗装、溶融亜鉛めっき、金属溶射)について、その選定方法から特徴、製作・施工方法に至るまでの基礎知識を中心に具体的に解説します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 防食部会 委員 日本ファブテック(株) 取手工場 品質保証課 係長	大庭 哲也
1/26 (金)	16:00～17:30	1.5h	耐候性鋼橋梁	耐候性鋼材の基礎から、適用事例、採用時の具体的な留意点等を解説し、さらに、最近の新しい技術を紹介いたします。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 耐候性鋼橋梁部会 部会長 横河ブリッジ 設計本部 大阪設計第一部 設計第二課 課長	鈴木 克弥
	9:00～10:30	1.5h	鋼橋の床版	鋼橋で使用されるRC床版、PC床版、合成床版について、その概要、設計、施工、維持管理について説明します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 床版小委員会 床版技術部会 委員 川田工業㈱ 鋼構造事業部 技術部 東京技術課 主幹	北川 幸二
	10:40～12:10	1.5h	鋼橋の補修・補強における設計・施工の留意点	補修・補強工事の実態、施工事例、古い橋の特異点等を紹介し、補修・補強工事における設計および施工上の留意点を説明します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 床版小委員会 床版施工部会 副部会長 三井造船鉄構エンジニアリング㈱ 建設本部 東部工務部長	鈴木 康宏
	13:00～14:30	1.5h	震災時における補修・補強事例 一応急対応から本復旧まで	橋梁の高齢化により保全の時代と言われている現在、地震等による災害以外にも応急対応などが必要となるケースも予想されます。過去の震災での経験を次に活かすために、応急対応から本復旧までの補修・補強事例を紹介します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 保全委員会 保全第一部会 副部会長 JFEエンジニアリング(株) 橋梁事業部 改築プロジェクト部 技術室 部長代理	福島 道人
14:30～14:40		閉講式		一般社団法人日本橋梁建設協会 保全委員会 保全第一部会 委員 (株)横河ブリッジ 設計本部 東京設計第二部 設計課 主査	貞島 健介	

※教科目及び講師については変更することがあります。

平成 29 年度研修 「鋼橋設計・施工」 申込書

一般財団法人 全国建設研修センター

G102

ふりがな				年令・性別	
氏名				満才 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
最終学歴	<input type="checkbox"/> 大学院	<input type="checkbox"/> 大学	<input type="checkbox"/> 短大	<input type="checkbox"/> 高専	<input type="checkbox"/> 専門学校
	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> その他			科卒業/修了
当研修に関する経験年数	年	ヶ月	役職名	<input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 技術	
勤務先	(勤務先名)				
	部 課 Tel				
	E-mail @				
勤務先種別	<input type="checkbox"/> 国、地方公共団体		<input type="checkbox"/> 独立行政法人等		<input type="checkbox"/> 技術センター、財団、社团
	<input type="checkbox"/> 建設業者		<input type="checkbox"/> コンサルタント		<input type="checkbox"/> その他
勤務先所在地	〒 -				
研修経費納入方法	研修会費	<input type="checkbox"/> 振込	<input type="checkbox"/> 持参	宿泊費	<input type="checkbox"/> 振込 <input type="checkbox"/> 持参
前日宿泊 (1月23日)	希望する		希望しない		

◎ 前日宿泊の希望は、(希望する 希望しない) のいずれかを○で囲んでください。
 ※ 申込書に記入された氏名、年齢等の個人情報、研修を円滑に実施するためのものです。
 申込書の記載事項は、研修の事務連絡及び実施に必要な書類等の作成以外の目的では利用いたしません。

< 鋼橋設計・施工研修 >

受講者派遣機関名

〒 - Tel

所在地

派遣事務担当者

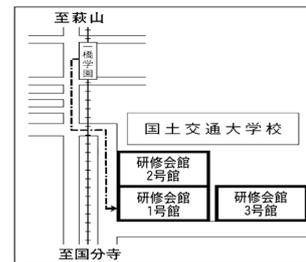
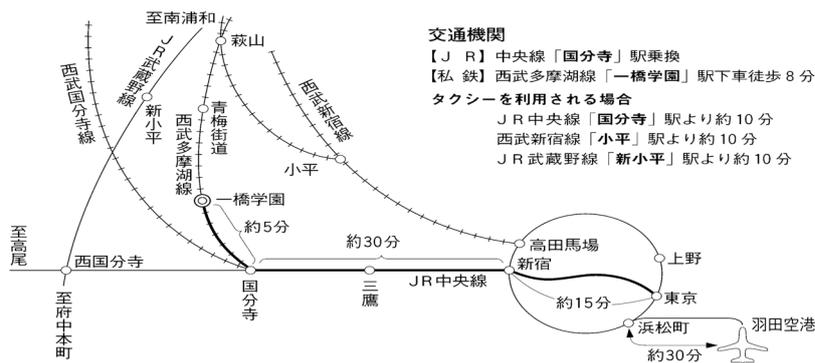
所属・氏名

キ リ ト リ セ ン

< 研修場所 >

一般財団法人 全国建設研修センター
 研修会館 ※1号館にお越しください。

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2
 TEL 042 (324) 5 3 1 5 (代)
<http://www.jctc.jp/>



【参考】平成 29 年度、当センターが実施いたします橋梁部門の研修は次のとおりです。

研修名	対象者	日数	研修初日	研修会費(円/人)
PC橋の設計・施工	一般	3	7/5(水)	68,000
橋梁設計	一般	9	8/31(木)	115,000
道路管理者のための橋梁維持補修	行政	3	10/4(水)	69,000
PC橋の維持管理	一般	3	12/6(水)	68,000
鋼橋設計・施工	一般	3	H30 1/24(水)	68,000

※「行政」… 国及び地方公共団体、独立行政法人等の職員を対象とした研修 / 「一般」… 行政、民間の職員を対象とした研修
 研修のしおりはホームページ「受講にあたって」からご覧いただけます。
 平成 29 年度に実施する研修の実施計画についてはホームページで閲覧できます。ホームページアドレス <http://www.jctc.jp/>